

CT：誘導臓器およびリンパ節生検

あなたが受ける検査について

この資料はCT誘導による臓器及びリンパ節の組織検査について説明しています。検査の為に準備すること、検査中及び検査後に行われること、そして検査結果を知る方法について説明しています。



携帯電話のカメラでこのQRコードをスキャンすると、この資料のデジタルコピーが入手できます。

CT誘導の臓器とリンパ節の生検とは何か？

CTは *computed tomography* (コンピュータ断層撮影) の略称です。CT走査は特殊なX線の機械を使って体の内臓と組織の詳しい画像を撮ります。

針生検は体から肺組織を安全に採取する最も安全で簡単な方法です。針生検を行う為に放射線科医が皮膚から針を刺して組織の中まで針を挿入します。注射器あるいは自動針を使って組織試料を採取することもあります。この採取された組織試料は評価および診断の為に研究室に送られます。

どの様に機能するのか？

走査の為にあなたはCTの機械の中で横たわります。X線管があなたの周りを回転し、沢山のX線放射があなたの体を通過します。機械はたくさんの角度から画像を撮り、その部域の断面画像(スライス)を形成します。あなたの医師がコンピューターで画像をチェックします。

CT誘導生検中は、あなたはCT検査台の上で1時間以上じっと動かないでいる必要があります。

あなたが準備することは？

- 糖尿病がありインシュリンを摂っている方は、あなたの糖尿病を管理している医師と話してください。CTスキャンの前の6時間は食べることができないのでインシュリンを調節する必要があるかもしれません。

- 通常アスピリンや他の抗凝血剤(血液をさらさらにする薬)を摂っている方は、その薬を摂らないようにというイメージングサービス科のスケジュール係から出された指示に従って下さい。あなたの生検を行う前に、血液をサラサラにする薬の摂取についてスケジュール係が当院のクリニックの医師にすでに確認しています。
- 検査後、責任のある大人の方があなたを車で家まで連れて帰れるように計画して下さい。あなたは自分で車を運転して帰宅することも一人でバスやタクシーやシャトルを使って帰宅することも出来ません。
- 妊娠している場合はあなたの医療プロバイダーに伝えて下さい。

検査当日

自宅で

- 検査の6時間前までは普通に食事をして下さい。
- あなたの医師あるいは放射線科のスタッフから指示がない限り、インシュリンと抗凝血剤以外の他の通常の薬は処方通りに摂って下さい。
- 検査後あなたを家まで送って下さる方を確認して下さい。

病院で

- 検査の為に病院のガウンに着替えて頂きます。滞在中、あなたの持ち物全てはずっとあなたと一緒に移動します。
- ヘアピン、装飾品、メガネ、補聴器や取り外し可能な義歯など画像に影響する可能性がある物を取り外すように言われます。
- 妊娠している可能性がある場合は検査が始まる前に放射線医あるいはCTの技術士に言って下さい。
- 生検を開始する前に検査を行う放射線医師か又はアシスタントがにこの検査について詳しくあなたに説明します。どの様に生検が行われるかを話し、合併症の可能性を説明し、検査後に従って頂く事とセルフケアに役立つことを話します。質問があれば、必ず全て尋ねて下さい。



CTの検査台の上であなたが正しい位置になるようにCTの技術者がお手伝いします。

- あなたは私たちが話したことを理解し、この検査を受けることに同意するという内容の同意書に署名する必要があります。
- 検査を始める前にあなたの腎臓機能をチェックします。あなたがもし脱水している場合は開始前につけられた静脈(IV)ライン通して液体を点滴注入します。

CT 誘導生検はどの様に行われるか？

- 最初に、放射線科の看護師があなたの手か腕の静脈にIVラインを挿入し点滴の準備をします。検査中、点滴で液体や薬が注入されます。また、生検前に点滴で軽い鎮静剤(あなたをリラックスさせる薬)が投与されることもあります。
- CTの検査台の上に乗るのをCTの技術者がお手伝いします。枕をいくつか使って検査中あなたが正しい位置を維持しやすくします。
- 最初の数回の走査を使って生検を行う領域と最も安全にその領域まで達する方法を確定します。
- そして針を挿入するところの皮膚の上に印をつけます。挿入するところの周りの皮膚を消毒液で擦って消毒し、その部分に滅菌された覆いを被せます。
- 次に挿入する部位に局所麻酔(痺れ薬)を注射します。これで挿入部位を痺れさせるのであなたは切開や生検針を感じません。
- そして、皮膚に小さな切開が入れられます。この切開口から生検針が挿入されます。
- 検査中動いたり咳をしないように言われます。また、何度か息を止めるように言われます。指示がある度にあなたは息を止めなければなりません。これは針で確実に正しい領域から組織を採取するためです。
- 医師はCTの画像を使って正しい部位に針を誘導し少量の組織を採取します。組織試料がいくつか必要になる場合があります。
- 試料全てが採取されたら針が取り除かれます。
- 切開部からの出血が止まったら、その上に包帯が貼られます。出血は少なく、縫合する必要はありません。

- 生検後、あなたは短期入院病棟に移ります。そこで、問題がないことを確認するためにあなたの様子が監視されます。患者の殆どの方は退院するまでに4時間以上監視されます。

検査中は、どの様に感じるか？

- 局所麻酔をする時、針からは少しだけチクリと刺すのを感じます。
- 薬が注入されて効果が出ると、焼けるような感じがするかもしれません。しばらくするとその部域が痺れます。
- 医師の手や生検針で圧迫されるのを感じるかもしれません。

検査後は、どの様か？

- ほとんどの場合、生検の翌日に包帯を取り除いてもよいです。
- 生検の翌日には普通に入浴したりシャワーを浴びることが出来ます。
- 生検後24時間は、重い物を持ち上げたり、階段をたくさん上ったり、スポーツをするなど**激しい運動をしないで下さい**。
- あなたが大丈夫だと感じれば、生検の2日後から通常の活動に戻っても良いです。
- 生検後24時間以内に飛行機で旅行する予定がある場合は、あなたの放射線科医に相談して下さい。
- 局所麻酔の効果が消えたら生検部位が痛むかもしれませんが、検査の12 - 48時間後には良くなるはずで。

誰が結果を解読し、その結果はどの様にして知らされるか？

放射線科医が生検に紹介したあなたの医師に詳しいレポートを送ります。あなたの医師がこれらの結果を受け取るまでに数日から1週間、または1週間以上かかる場合もあります。この検査を紹介したあなたの医師あるいは看護師が検査結果についてあなたに話します。

また、マイチャート（MyChart）でも結果を読むことができます。画像の複写を保存したディスクを必要とする方は、206.598.6206にお電話ください。

治療など必要に応じて、次のステップをあなたとあなたの医療プロバイダーが決めることになります。

緊急処置が必要な時

次に挙げる症状のいずれかがあった場合には、**911に電話し、早急に最寄りの救急医療室**に行ってください。：

- 切開部位を圧迫しても止まらない、ひどい出血
- 胸が痛い
- 息が苦しい
- ろれつが回らない話し方
- バランスに問題がある、あるいは、腕や脚を使うのが難しい

ご質問は？

あなたからの質問は重要です。質問や気がかりなことがある場合は、あなたの医師あるいは医療プロバイダーに電話して下さい。

UWMC –モントレイク：

206.598.6209

内線オプション 2

UWMC –ノースウエスト：

206.598.6209

内線オプション 3

ハーバービュー・メディ

カルセンター：

206.744.2857

夜間、週末、祝日：

206.598.6190 に電話してインターベンショナル放射線科の当直医を呼び出して下さい。

電話をする場合

ワシントン大学メディカルセンター、及び

ノースウエスト・ホスピタル

週日の午前8時から午後4時30分までの間は、インターベンショナル放射線科（Interventional Radiology Department）に電話して下さい。：

- モントレイク： 206.598.6209、内線オプション 2
- ノースウエスト： 206.598.6209、内線オプション 3

ハーバービュー・メディカルセンター

週日の午前8時から午後4時30分までの間は、インターベンショナル放射線科（Interventional Radiology Department）206.744.2857に電話して下さい。